

ふれあい たまこ

「ふれあいたまこ」は多摩湖町福祉協力員会の広報紙です。
年2回(9月・3月)発行し、多摩湖町の全戸に配布しています。

第58号

令和4年(2022)9月

発行：多摩湖町福祉協力員会
連絡：Tel.397-0737
(地区長 木崎朗子)

東村山市社会福祉協議会
東村山市野口町 1-25-15
(Tel.394-6333)

人生100年に向かって ～ 小学校時代の親友の手紙に感謝して～

小学校時代の親友から届いた最近の手紙で100歳時代の自分自身を見直すことができたことに感謝し、今の気持ちを読み易いように手紙形式で書いてみました。



由利ちゃん、異常気象の今夏、如何お過ごしかと気にかかっていたところ、断捨離を始められたそうでお忙しい中、厚い封筒に近況報告と写真を送って下さって有難うございました。久しぶりに60数年前の自分に再会し感無量でした。大学受験写真と自宅の庭の池の前に立つスナップ写真、4月上洛を間近に控え、希望と不安が交差している様な18才の私の表情が愛おしく、目がウルウルしてしまいました。早いもので由利ちゃんと親友になって70数年が過ぎました。その間何かにつけ良くお便りを交わしましたね。今も相変わらず信頼し合える友を持って幸せ。感謝、感謝！さてさて毎日如何お過ごしですか。私は畳の上に寝ころび読書三昧、何をするにも億劫、食欲だけは旺盛、結果合う服がなく、デパートのサマーセールに出かけようと思うものの暑い中のマスクの着用のいやさに外出を諦め、昼寝に精をだしています。このコロナ禍から解放される日がくるのでしょうか。

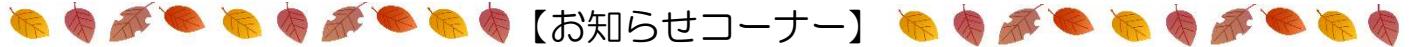
話は変わりますが私たちもいよいよ人生最終のコースに突入。「人生100年時代」関連の本の出版が増えましたね。貴女は100年時代にどの様に対処なさるおつもりですか。子供の頃から病弱で親に心配ばかりかけてきた私は、自分が82才まで生きるとは夢にも思っていませんでした。この長い年月、私は何をして過ごして来たのだろうと啞然とする思いです。何か得たものあるだろうと考えたところ二つのことが思い浮かびました。やんちゃだった3人の息子が成長し子の親になったこと、60年間の結婚生活を記した家



計簿が60冊並んでいること、ささやかですがこれで満足することにしました。これからは今まで私を支えてくれた友、トランプ占い、ピアノ、読書、信仰、家族を心の財産に、夫と助け合いながら老いの坂道をゆっくり登れたらどんなに楽しいことでしょう。そして願わくは地球から戦争が無くなりますようにと切に祈ります。

厳しい暑さの一日に夕暮れが訪れました。多摩湖から流れてくる風に微かな秋の気配を感じます。10月頃の再会を期待して今夏を乗り切りましょうね。それまでどうかくれぐれも御身お大切にお過ごしくださいませ。

(石橋 淑子)



【お知らせコーナー】

◎ 令和4年度 長寿記念品のお届け

新型コロナウィルス感染拡大防止のため、本年度も郵送でのお届けとなります。9月中旬に、対象の方に東村山市・東村山市社会福祉協議会よりお祝いのご挨拶状と記念品を郵送いたします。



◎ イオンフードスタイル小平店移動販売のご案内

①多摩湖町4丁目アパート駐車場

毎週火曜日 10:00~10:30

毎週金曜日 14:40~15:00

②多摩湖町1丁目なかよし広場前

毎週火曜日 11:00~11:30

毎週金曜日 15:20~15:40

食料品や
日用品を

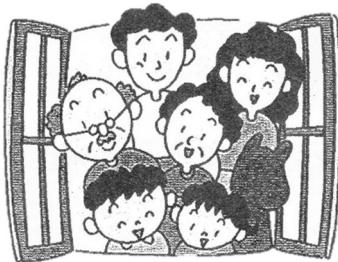


おうちの近く
までお届け

※雨の日も訪問します



ボランティアの窓



「楽しい」「嬉しい」ボランティア

私が福祉協力員として活動することになった切っ掛けは、自治会で役員を受けたことが始まりです。当初は役員としての一年が終わったら辞めるつもりでした。ところが協力員会でボランティアを続け13年。私がボランティアを続けてこられた要因はやはり「楽しい」「嬉しい」と思うことがあるからです。普段はフルで仕事をしているので、無理せず自分の出来ることをする。これが私のモットーです。今はコロナ禍で色々な行事が出来ませんが、以前は「さくらまつり、長寿のお祝いのお届けなど」様々なイベントがあり、その中で、楽しい、嬉しい、心が優しくなれる場面が沢山ありました。

1つ目は「さくらまつり」です。普段は会議でしかお会いしない方や社協の方と皆で一緒にお団子やポップコーンを作り、売る工程の楽しいことです。一日一緒に過ごしたことに「疲れた?」が「楽しかった!」に変わっていました。完売し皆大喜び。売り上げは協力員活動に使う。嬉しくて達成感でいっぱいです。

2つ目は「長寿のお祝いのお届け」です。平成22年9月からは77歳以上の対象者に福祉協力員が直接お届けすることにしました。それは四中の体育館まで日舞・ダンス・四中吹奏楽・琴の演奏などの催しに足を運ぶことが出来ない方がいらっしゃることが分かったからです。協力員と検討に検討を重ね、お祝いのカードとお祝いの品を手渡しすることにしました。13町で初めての試みは良い結果となり、その後市内5町も倣っています。1年に一度お祝いを待っていて下さる方。待ってくれていたのだと思ったら嬉しく心が温かくなります。お話の中で困ったことがあれば、民生委員に相談できる。これが地域福祉に密着したボランティアだなと思います。

これからは、私の気持ちに賛同して下さり、協力員としてボランティアのお手伝いを続けてくれる方が増え、色々な人とボランティアを通して知り合えたりすることを楽しみにしています。多摩湖町で自分の出来ることを考え仲間を募って具体的に前向きに行動して行きたいと考えています。

(小野寺 光子)

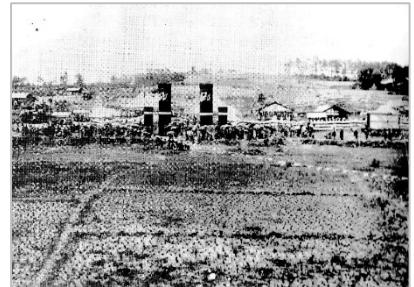


多摩湖町を歩いてみる シリーズ⑯

村山上貯水池・村山下貯水池（通称多摩湖）

— 多摩湖の工事はこうして進められた —

大正5年(1916)1月に村山貯水池一部起工案が東京市参事会に諮詢され、同年6月4日東村山村回田(村山下貯水池内)において水道拡張工事に係わる地鎮祭が行われた。東京市長奥田義人、東京府知事井上友一、北多摩郡長鈴木種一、東村山村長当麻喜重、高木村外五ヶ村組合村長尾又高次郎など約300人が参列し小雨の中盛大に行われた。



村山貯水池建設工事の地鎮祭風景

I 工事に至る経緯

- ① 用地測量の開始頃から地元有志の間に貯水池工事を請負う運動が始まった。北多摩郡三ツ木村、中藤村、岸村、芋窪村、戸塚村（以上現東大和市）の住人46名が東京市第二水道拡張工事請負請願書を衆議院議員戸水寛人、同小出五郎を代理人として東京市に出したが、当初から直営工事でやることに決めていたため不採択に終わった。
- ② これにより東京市と契約した工事への作業員出しの組織の多摩組が上貯水池を、入山組（元東村山町長清水忠助）と小島組が下貯水池関係を分担することになった。
- ③ 下貯水池工事は地鎮祭の前に大正5年5月に起工するが第一次世界大戦に会いその影響は大きく、また工事用地に該当する一部の土地所有者が買収協定に応じず市は土地徴収並びに価格の決定申請を内務大臣に出し、大正8年12月に申請通り決定した。いわゆる土地収用法により強制収容された。
- ④ 大正9年5月に工事は再開したが、市の緊縮財政関係工事で2期に区分して下堰堤工事を行い、高さ海拔270尺（81m）として仮水路を設けて上貯水池の水を直接村山境線に導引して大正10年8月に工事を中止した。その後第一期工事を海拔300尺（90m）変更して大正11年2月に工事を再開した。
- ⑤ 丘陵地に囲まれ窪地にして交通の便を欠き砂利、砂等の工事用材料は東村山停車場より馬力により行い輸送は遅々として進まなかった。内務大臣の裁定を仰ぎ材料運搬専用軌道を設置した。

II 堰堤工事

村山上貯水池と下貯水池の二つの堰堤工事は近くの丘や高台から切り崩し、その土を突き固めて積み上げて堰を作るやり方である。古来の工法に加え粘土に砂利を混ぜてしっかりと突き固め、要所はコンクリートを使うという近代的な技術を駆使して築いた。土を主にして築くので「アース式ダム」と言われる。堰堤の底は幅が広く断面は傾斜の緩い三角形になる。

工事の順序は①敷鋤取しきすきとり ②提心掘削 ③盛土 ④提心粘土壁 ⑤提心コンクリート壁 ⑥張石である

III 導水路工事

羽村の取入口から村山上貯水池までの水路を羽村村山線と呼び、羽村から瑞穂町の南部（横田基地内）を経て武藏村山市の西部から新青梅街道を斜め横断し、市立一中の北側を通り、市の中央を北東に、丘陵の下を抜けて上貯水池西側に通じている。この水路の上を工事中は軽便鉄道が砂利、砂を運んだ。丘陵は隧道（トンネル）を掘って下を水路に、その上を軌条が走っていた。上貯水池の取水塔下から下貯水池への導水路は取水塔下から深く隧道を掘り、堰堤南端下の湾入したところへ通じている。

（大熊 鎮成）



地域で共に生きる

「ヤングケアラー」(英語：young carer)という言葉をご存知ですか？厚生労働省は「家族やきょうだいの世話や家事労働の役割を日常的に担っている18歳未満の子」をヤングケアラーとみなしています。

国は昨年4月、初の全国実態調査を実施しました。その結果、小学6年生の15人に1人、中学2年生の17人に1人、高校2年生の24人に1人、18歳以上の大学生では16人に1人の割合でヤングケアラーが存在していることがわかりました。日常的なケアや家事労働により学校生活に何らかの支障をきたし、両立に悩む子供達の実情から様々な課題や支援の必要性が浮き彫りになり、国や自治体が支援に動き始めました。ゆりかごから墓場まで知られる福祉国家モデルのイギリスでは、30年前からヤングケアラーへの支援サービスが導入されており、現在300以上の支援団体が、各地域で暮らすヤングケアラーの生活を支えています。互助・共助を含めた地域住民のインフォーマルな役割が地域共生社会の基盤となっています。

現在、我が国でも地域住民を主体とした「我が事・丸ごと」の地域づくりと地域共生社会の実現に向け、各市町村が「^{※(2)}地域包括ケアシステム」の支援体制の整備を進めています。地域には、かつてのヤングケアラーのように人知れず潜在的な立場の人々が暮らしていると思われます。まずは私達、地域住民がその「存在」に気づき「存在を認め、知ること」こそが地域社会の第一歩であり、地域住民の「見守る眼」や「目配り」の視点が最も大切であると思います。地域住民ひとり一人、誰もが安心してその人らしく普通の生活が送れるような地域社会でありたいと願います。

※(1) インフォーマル：フォーマル（公的）に対して、「くだけた、形式ばらない」

※(2) 地域包括ケアシステム：地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営み、医療・介護・介護予防や住まいなど自立した生活の支援が包括的に確保された地域体制のこと

(寺島 晶子)

あとがき

シドニー五輪（2000年）のソフトボール日本対米国の決勝戦。延長タイブレーク8回裏米国選手の打球がゆるやかな弧を描いてレフトに飛んだ。ボールは収まったかに見えるが、転倒してこぼれ落ちた。サヨウナラ負けを喫した。左翼の選手が更衣室でうなだれていた。チームを率いた宇津木妙子監督は長く後悔するひと言を発した。「いつまで泣いているんだ。おまえのエラーで負けたんだろ」。ナインの気持ちを代弁し、主砲の宇津木麗華選手が声をあげた。「あれは、みんなのエラーです」。ソフトボール・マガジン8月号で妙子さんは述懐している。東京オリンピックのソフトボール監督に宇津木麗華さんに決まった。この言葉に感動と称賛を受け、麗華監督の心の温かさと懐刀の深さに多くの選手が監督のためと集まつた。2021年7月28日 宇津木麗華監督の冷静な采配で決勝戦は宿敵米国に勝ち胴上げされた。北京出身。反対する父親を説得して、日本に帰化。日本代表で金。高齢者、心悩んでいる人、精神的に追い込まれている人、困っている人に心から温かい声掛けをすることの重要性を痛感し学んだ「2人の宇津木」物語である。

(大熊 鎮成)
デザイン：田島 徹